

【果樹】の【長雨、日照不足】対策について <8月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【果樹全般】

(1) 予想される被害状況

園内滞水に伴う根系の枯死及び樹勢低下。
生理落果の増加に伴う結果不良。
病害の増加。

(2) 事前対策

- ① ほ場への降雨が速やかに排出されるように園内の排水対策を徹底する。
- ② 勢いの強い徒長枝や、結果の見られないかぶり枝を基部から除去する。
- ③ 感染源となる罹病葉や枝を早期に園外に持ち出すとともに、適期防除を実施する。

※日照不足時は、枝葉が徒長気味に生育していることから薬害が発生しやすい環境にあるため、混用や防除の時間帯、その後の乾燥などに十分に留意する。

【露地かんきつ】

(1) 予想される被害状況

黒点病の増加。

(2) 事前対策

前回の薬剤散布から250mm以上の降雨が見られたら、マンゼブ剤等による防除を実施する。

(3) 事後対策

冬期剪定時の枯れ枝除去を徹底する。

【施設果樹全般】

(1) 予想される被害状況

日照不足に伴う糖度低下。
剪定後の枝葉の緑化不足。

(2) 事前対策

- ① 遮光資材を取り除きできる限り日照を確保する。
※曇雨天から一転して強い日射が照りつけると、果実や、枝、葉に日焼けが発生することがあるので、必要に応じて遮光を実施する。
- ② 新梢や新葉への葉面散布を実施する。

【マンゴー】

(1) 予想される被害状況

ヤニ果の増加。
炭そ病の増加。

(2) 事前対策

- ① 果実の結露を防止するために昼間も必要に応じて加温機を稼働させる。
- ② ヒートポンプがあるハウスでは、除湿を行う。
- ③ 出荷直前及び出荷期間中の炭そ病の防除を徹底する。